

3月8日：利益確定売りが強まり、VN指数は続落

VN指数は続落。銀行、石油ガス、鉄鋼、農薬、石炭といった複数のセクターに投資家の売りが広がった。

ホーチミン市場のVN指数は1.69%安の1,473.71ポイントで取引を終えた。

騰落別では370銘柄が下落、95銘柄が上昇した。

出来高は前日比で増加し、売買高は10億株以上、売買代金は34兆5,000億ドン（15億米ドル）となった。

VN30指数は1.26%安の1,490.17ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、22銘柄が下落、6銘柄が上昇、2銘柄は変わらずだった。

銀行株は軟調な値動きで、その中でもヴィエティンバンク（CTG）、TPバンク（TPB）、ベトコムバンク（VCB）、軍隊商業銀行（MBB）、サコムバンク（STB）、テクコムバンク（TCB）、エクシムバンク（EIB）、ベトナム投資開発銀行（BID）の下げが目立った。

不動産セクターも弱い値動きとなり、多くの銘柄が売られた。主な値下がり銘柄にはCEOグループ（CEO）-6.3%、DIC不動産（DIG）-6.0%、LDG投資（LDG）-4.5%が含まれた。

農薬、鉄鋼、化学、石油ガス、石炭セクターは商品価格の上昇を受けて前日に買われていたが、本日は売られた。

主な値下がり銘柄にはホアファットグループ（HPG）、ペトロリメックス（PLX）、ペトロベトナムドリリング（PVD）、ペトロベトナム・ケミカル・サービス（PVC）、ペトロベトナムコーティング（PVB）、ペトロベトナム・カマウ肥料（DCM）、ペトロベトナム化学肥料（DPM）、ビンディエン肥料（BFC）、ビナコミン・デオナイ石炭（TDN）、ビナコミン・コックサウ石炭（TC6）が含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数は 1.54% 安の 445.89 ポイントで取引を終えた。
売買高は 1 億 4,000 万株以上、売買代金は 4 兆 1,000 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。